

鬼女紅葉 きじよ もみぢ

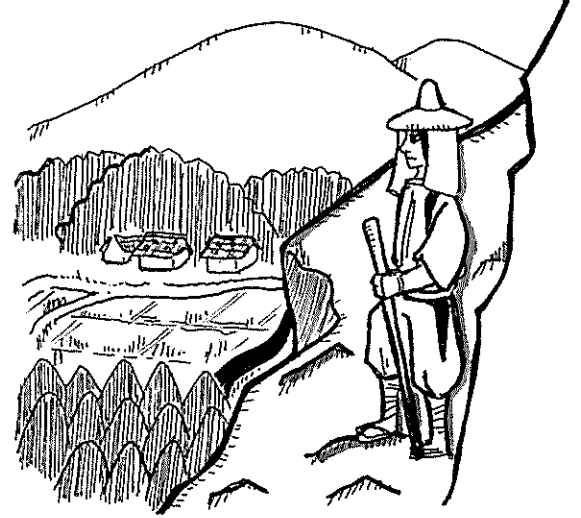
もみがたり

遠 い平安のむかし—
都にたいそう美しいと

評判の紅葉という娘がおり
ました。やがて源経基公の
寵愛を受けるようになると
経基公の奥方に
妬まれ、呪い



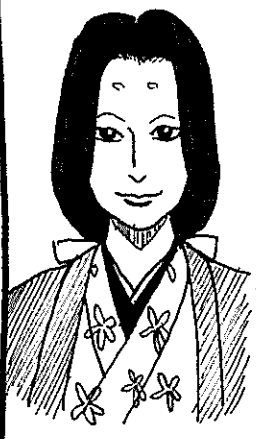
殺そうとしたと
疑われて都から追放
されてしまいました。
悲しみに暮れる紅葉の



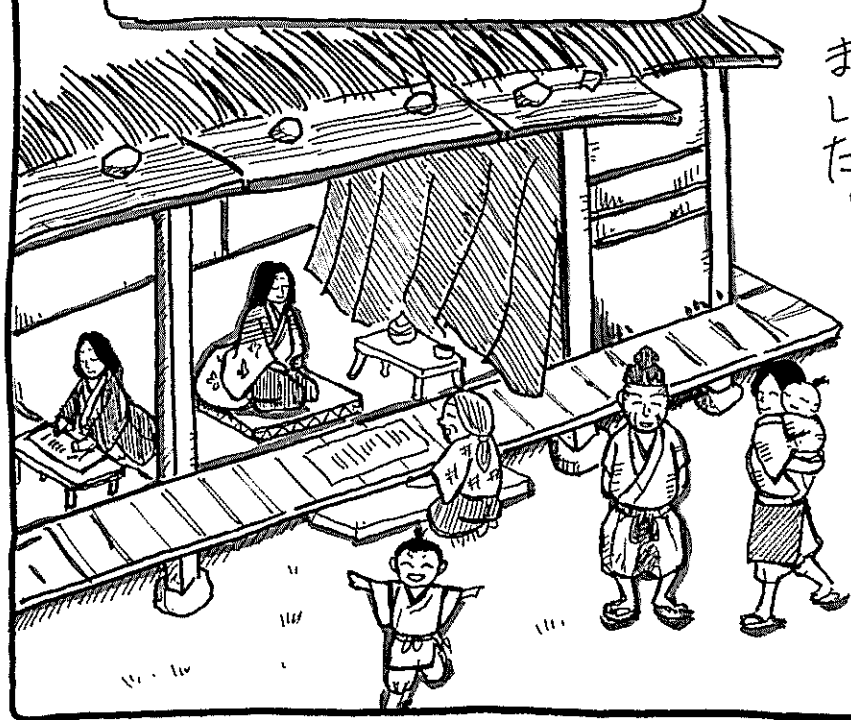
体には経基公の
子が宿っており
ました。

信 濃国の戸隠山の
更に奥の山里に

辿り着いた紅葉は、
里の者に親切にされ



ました。そのお礼に都の
文化や読み書き、医術など
を教え静かに暮らしました。
山里にも慣れ立派な男の子
が生まれると遠い都を思い
周辺の地に東京、西京、内裏
屋敷などの地名を付け思ひ
ました。



歳

月が流れて子の経若丸が成長すると都で立派な武士

になってほしいと願うようになり

ました。その頃近くの荒倉山に

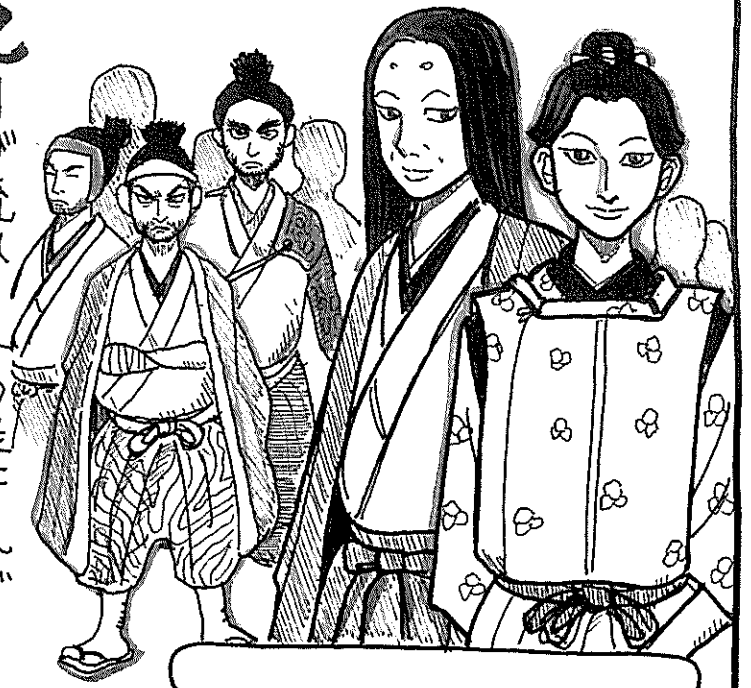
住む盗賊たちが経若丸を源氏

の頭領にして出世しようと思

朝廷への品物を奪い準備を

してました。紅葉も都へ

帰る為協力し仲間になり



戦

は始まり紅葉軍は倒されていきました。

若い経若丸も矢で射られ

討たれてしまいました。

ました。その悪事が

都に伝わり帝は將軍

平維茂を討伐軍に

命じました。



我が子を失い怒り狂った

紅葉は鬼の形相となり

維茂軍に挑んでいきま

したか遂に力尽きその

一生を終えました。

紅葉32才。

荒倉山が赤く

色付く秋の日の

ことでした。

現在紅葉の

持っていた

地藏尊を里の

者が守り傳い

ものがたりを

伝えていきます。

